

重点的に取り組む事業

令和5年度の新規の施策や「福岡県の教育施策の体系」(4ページ)に示す8の項目において、特に重点的に取り組む施策に関する事業について、以下に示します。

1	学力向上総合推進事業	50
2	グローバル化に対応した英語教育推進事業(一部新規)	51
3	福岡県体力向上総合推進事業	52
4	福岡県部活動改革推進事業(新規)	52
5	ワンヘルス教育推進事業	53
6	読書好きを育む環境づくり応援事業(新規)	53
7	いじめ・不登校総合対策事業(一部新規)	54
8	保護者と学ぶ児童生徒の規範意識育成事業	55
9	地域と一体となった学校づくり事業	55
10	「 ^{きよ} 鍛ほめ福岡メソッド」総合推進事業	56
11	特別支援教育の推進事業(新規)	57
12	キャリア教育総合推進事業	58
13	ICTを活用した教育推進事業(一部新規)	59
14	児童生徒を取り巻く生活環境改善事業	60
15	教職員の働き方改革推進事業(一部新規)	60
16	競技者育成・競技団体等活性化事業(一部新規)	61
17	ふくおか社会教育応援隊事業	61
18	古代日本の「西の都」魅力発信事業(一部新規)	62
19	個別の人権課題に関する指導方法等調査研究事業	62
	<参考資料>重点的に取り組む事業に関する予算概要	63

県、市町村、学校が一体となった学力向上の取組を総合的に展開することにより、児童生徒の実態に即した取組を強化して、確かな学力を育みます。

確かな学力の育成



小学校教員及び中・高等学校英語教員の英語力・指導力を高めるとともに、小・中・高で一貫性のある英語教育を実施することとおして、英語力や英語で積極的にコミュニケーションを図る態度を養成し、海外留学を志す児童生徒及びグローバル社会で活躍する人材を育成します。

英語で積極的にコミュニケーションを図る態度を身に付け、
グローバル社会で活躍する人材を育成

児童生徒の
英語力の向上

教員の英語力・
指導力の向上

豊かな国際感覚の
醸成

中・高等学校における英語教育の高度化への対応

1 英語力の高い生徒の育成

- 県域の中学生を対象とした英検IBAテストの実施
- 中学生英語スピーチコンテストの開催
- 中学生の体験型英語学習に係る支援
- ALT（外国語指導助手）の配置・活用
- EAS（英語活動指導員）、NET（ネイティブ英語教員）の配置・活用<高>

2 教員の英語力・指導力の向上

- 教員の英語指導力向上研修の実施

3 高校生の海外留学の促進

- 海外留学の手続・費用等に係るオンライン説明会の実施
- 海外留学経費の助成
- 県主催の短期留学研修プログラムの実施
- 留学経験者による留学の促進活動

小学校における英語教育の教科化への対応

1 教員の英語指導力の向上

- 力量を備えた教員の採用

2 小学生の英語コミュニケーションへの意欲向上

- 英語を用いて表現する交流会の実施
- 小学生の体験型英語学習に係る支援

【課題】 ■ 児童生徒の英語力の向上 ■ 小・中・高校教員の英語力・指導力の向上
■ 高校生の海外留学に対する意識や意欲の向上

事業費：516,055千円

子どもの運動やスポーツをする習慣の定着と体力向上のため、スポコン広場の実施や教員の指導力向上に向けた研修会の開催等により、子どもの体力向上に係る総合的な取組を実施します。

子どもの運動やスポーツをする習慣の定着と体力向上

子どもの体力向上に係る総合的な取組

運動やスポーツへの動機付けと習慣化

小学生チャレンジスポーツプロジェクト

○スポコン広場チャレンジランキングゾーン、みんなでダンスの実施及びスポコン広場大会の開催

オリンピック・パラリンピアン等派遣事業

○県立学校にオリンピック・パラリンピアンを派遣し、各競技の体験教室等を開催

体力アップシートの配布

○運動やスポーツへの動機付けを図るため、運動・スポーツへの取組や新体力テストの結果が記録できるシートを配布

教員の指導力向上

小・中学校体力向上指導者研修会

○小・中学校の体育担当教員を対象として、体力向上に関する取組についての研修を実施

タグラグビー指導者研修会

○小・中・高等学校、特別支援学校等の教員対象の指導者研修会を開催



体育・保健体育科授業の充実・改善
「1校1取組」運動を位置付けた体力向上プランの
作成・実施(計画的・継続的な取組の充実)
「運動やスポーツの楽しさ・喜び」の実感



事業費：2,210千円

生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築のため、部活動改革協議会や実証事業等の実施、指導者向け研修会の開催等により、部活動改革に係る総合的な取組を推進します。

生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築

部活動改革に係る総合的な取組

実施主体、人材確保等の環境づくり

○福岡県部活動改革協議会

・市町村における部活動の地域移行に関する課題分析
・休日の部活動の地域移行に関する具体的方策の検討
・部活動の在り方と適正な運営に関すること等

○部活動の地域移行に向けた実証事業

・複数校合同、平日を含めた地域移行、新クラブ設置等について実証し、県内に広く普及

○中学校等における部活動指導員の配置支援

・部活動の指導体制の充実
・教職員の負担軽減

教育庁

連携

人づくり・
県民生活部

指導者向け研修会

○運動部活動指導力向上研修会

・中・高等学校の運動部活動顧問を対象として、指導力向上のための講義及び実技を実施

○部活動指導員研修会

・部活動の指導体制の在り方や生徒理解に基づく指導法等に関する研修



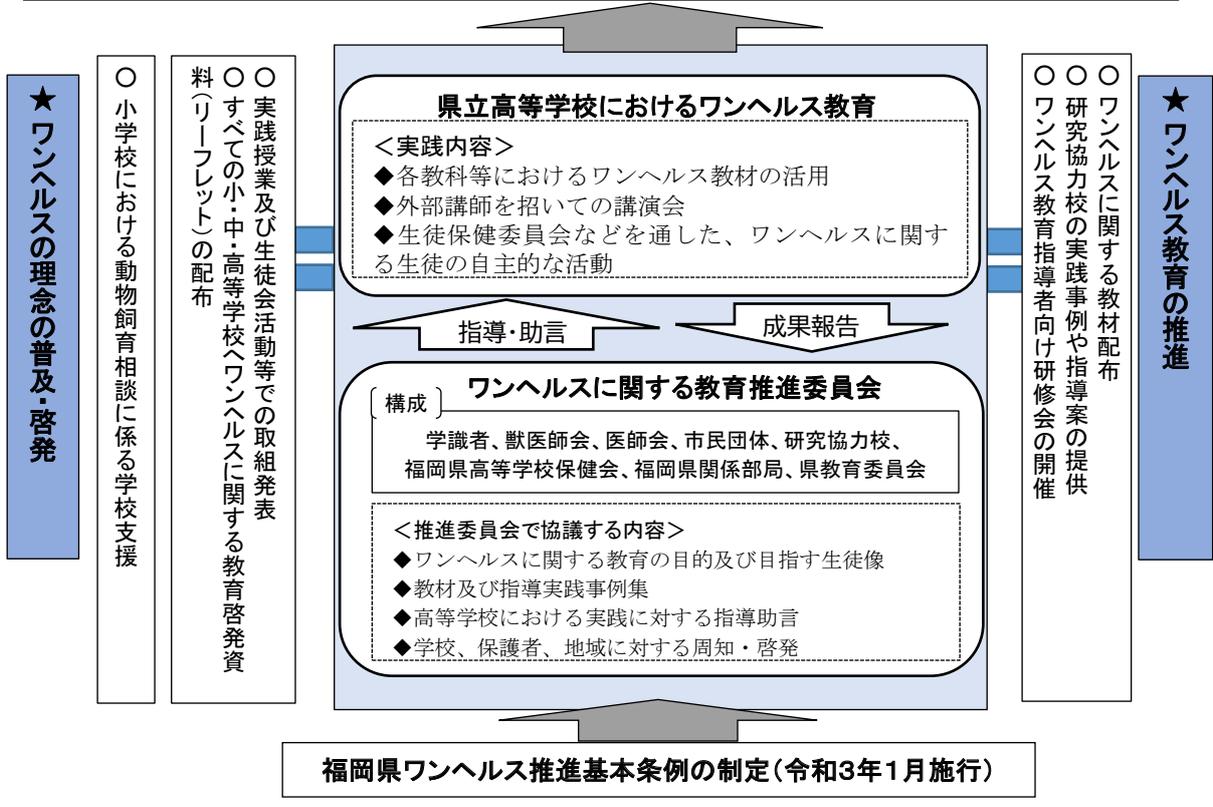
事業費：149,804千円

5 ワンヘルス教育推進事業

高校教育課・義務教育課・体育スポーツ健康課

生徒が生涯にわたって自らの健康や環境を適切に管理・改善していくための資質・能力を育成するため、高等学校において教材を活用したワンヘルス教育を推進するとともに、全ての小・中・高等学校へのリーフレットの配布等を通して、ワンヘルスの理念の普及・啓発を図ります。

生涯にわたって自らの健康や環境を適切に管理・改善していくための資質・能力の育成



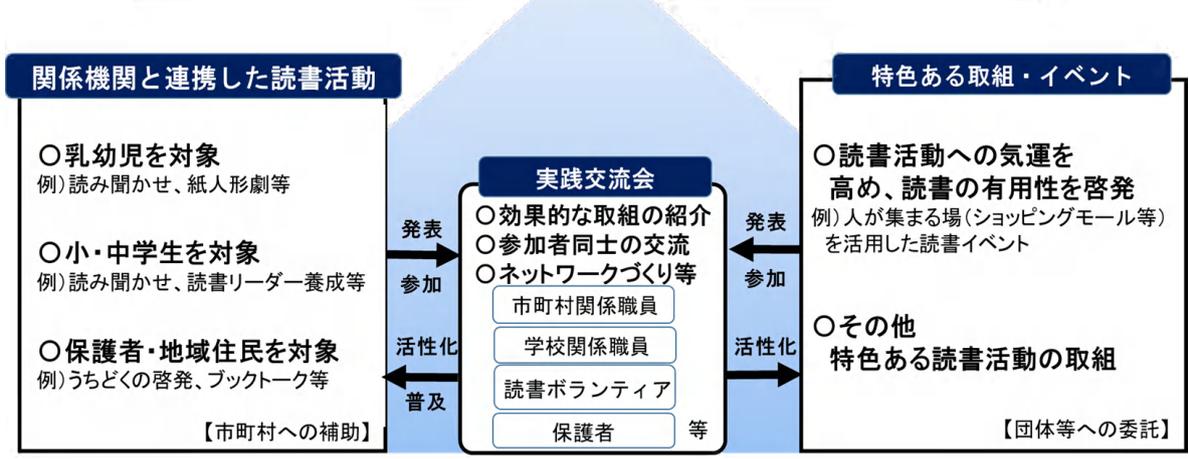
事業費：11,018千円

6 読書好きを育む環境づくり応援事業（新規）

社会教育課

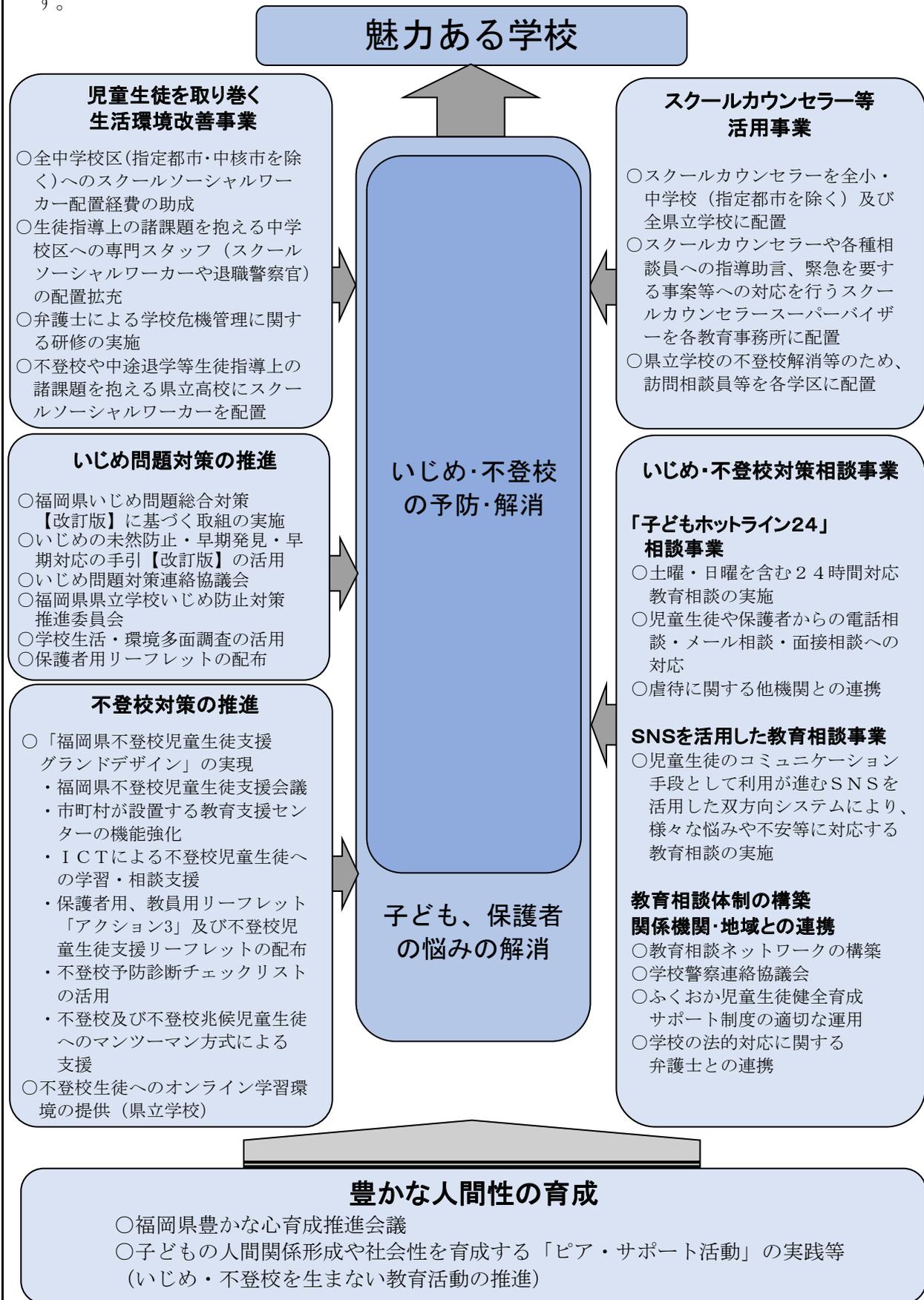
乳幼児から中学生までを対象とした発達段階に応じた読書活動の取組や保護者への啓発、読書活動の気運を高める特色ある取組の支援を通して、「読書が好きな子ども」が育まれる環境づくりを推進します。

読書好きを育む環境づくりの充実



業費：5,840千円

魅力ある学校づくりを推進するため、教育相談体制の整備・充実及びスクールカウンセラー等の専門家や関係機関等との連携・協働により、いじめ・不登校の予防・解消を図ります。



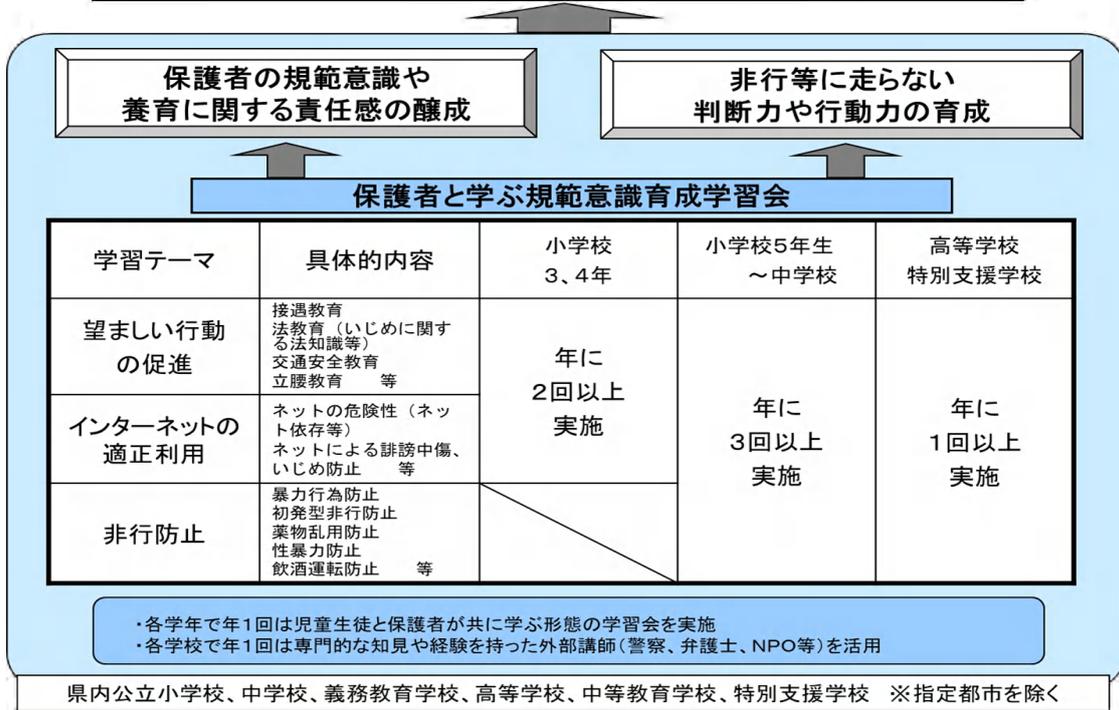
事業費：645,225千円

8 保護者と学ぶ児童生徒の規範意識育成事業

高校教育課・義務教育課・特別支援教育課

保護者が児童生徒とともに規範意識について学ぶことで、保護者の規範意識や養育に関する責任感を高め、さらに学校と家庭との連携を図り、児童生徒の規範意識を育成します。

非行防止の基盤となる児童生徒の規範意識の育成

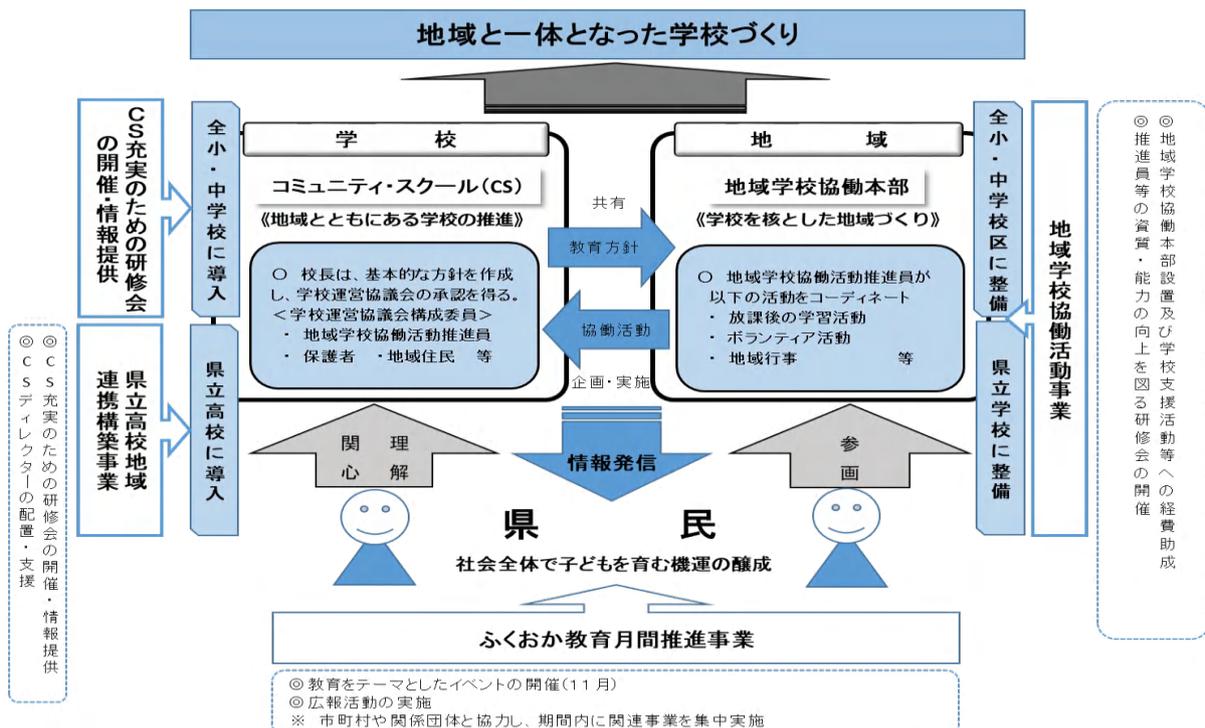


事業費：4,656千円

9 地域と一体となった学校づくり事業

義務教育課・高校教育課・社会教育課他

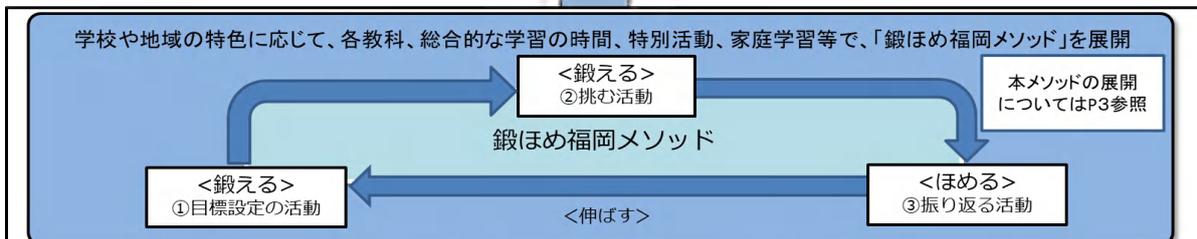
コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の導入・実践に取り組む市町村を支援するとともに、県立高校にコミュニティ・スクールと地域学校協働本部を導入・整備することで、学校、家庭、地域が連携・協働して子どもたちを育成する体制を整え、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を推進します。



事業費：143,749千円

福岡県独自の指導方法「鍛ほめ福岡メソッド」の実践を通して、子どもの学ぶ意欲や自尊心、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心等を育成するとともに、その成果を県内に広く普及します。

学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心等の育成



【学ぶことに挑み続ける子どもを育む鍛ほめプロジェクト】

取組テーマ：『「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた基礎学力の定着を図る取組におけるICT活用(1人1台端末)の効果的な在り方について』

- 非認知的能力の高まりと学力の育成の相関を分析し、効果的な取組事例を収集・啓発
 - ・研究協力校において取組テーマの研究・実践
 - ・学識経験者等で構成する調査研究協議会が研究協力校に指導助言
 - ・分析協議会において非認知的能力と学力の相関関係を科学的に分析

【算数・数学における学習到達診断シート「未来への一歩」を活用した学力向上の取組】

- 「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた「未来への一歩」の効果的な取組事例の収集・啓発
 - ・「鍛ほめプロジェクト」研究協力校、「学力向上推進拠点校事業」拠点校、「学力向上推進強化市町村」推進校、参加希望校における研究実践
 - ・大学と連携した「定着状況診断テスト」、「児童生徒質問紙調査」の分析・検証

事業費：5,942千円

福岡県特別支援教育推進プラン（第2期）に掲げた5つの柱に基づき、インクルーシブ教育システム構築のため特別支援教育を推進し、障がいのある子どもの自立と社会参加を目指します。

障がいのある子どもの自立と社会参加



【課題】

- ・対象児童生徒数の増加に伴う特別支援学校の教室不足の解消
- ・障がいの重度・重複化及び多様化に対応した教育の充実及び教員の専門性の向上
- ・子どもの多様なニーズへの対応（学びの場の検討、実習先・就職先の開拓）
- ・進学・就職時における継続性のある指導及び切れ目ない支援

事業費：341,807千円

地域の企業・経済団体等と連携して、子どもの発達段階に応じた勤労観・職業観を育み、自立した生き方を考えさせるためのキャリア教育、各地域のニーズに応じた職業教育を推進します。

社会で自立していく力

高等学校の取組

○地域の企業・経済団体・農業法人等と連携した
インターンシップ等の推進
(県立高校キャリア教育支援事業)

○進路支援コーディネーターを配置し、
生徒の進路実現に向けた支援を強化
(高校生みらい支援事業)

○求人開拓や面談の充実による支援
強化や関係機関との連携
(新規高卒者の就職支援の充実)

○産学官連携を行い、高度で実践的な
ものづくり技能をもつ人材を育成

○関連企業への訪問を行い、半導体関連
企業で活躍できる人材を育成
(県立工業高校産業人材育成事業)

○社会的・職業的自立に必要な資質・
能力を育成するため、地域と連携
した取組を推進
(未来を切り拓く人材育成事業)

特別支援学校の取組

○生徒のICT活用スキルを高め進路
選択の幅を広げる取組を実施
(特別支援学校生徒ICT活用就職
支援事業)

○社会的・職業的自立に向け、関係機関
との連携を図り、実習先・進路先の
開拓を推進
(特別支援学校等就職支援事業)

○企業団体と連携して開発した認定資格
を授与する技能検定を実施
(職業教育の充実)

○幼児・児童・生徒の自立と社会参加を
促進する取組を実施
(未来を切り拓く人材育成事業)

小・中学校の取組

○体験活動の充実
・地域の企業と連携した職場体験学習等の推進

○地域人材の活用
・実際に職業に従事する地域人材をゲストティーチャーとして活用

○一人一人のキャリア形成と自己実現を図る教育の推進
・活動の過程を記述し振り返ることができるキャリア・パスポートの作成と活用

事業費：110,076千円

学校におけるICT環境の整備を進め、これまでの教育実践とICTを最適に組み合わせ、児童生徒の情報活用能力などの資質・能力を伸ばす、令和の時代にふさわしい「新しい教育」の姿を実現します。

令和の時代にふさわしい「新しい教育」

ICTを活用した教育の充実

これまでの教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

教員のICT活用指導力の向上

- 学校において求められる立場、役割、資質・能力に応じた教員研修を拡充
 - ・管理職、中核教員、若年教員などの対象別の研修
 - ・体制づくり、授業法・教材開発、タブレット活用などの目的別の研修
- 「教員のICT活用指標」を新たに設定し、県立学校の全教員のICTスキルを伸長
 - ＜指標の例＞
 - ・機器の管理と基本操作について指導ができる
 - ・オンライン会議システムで同時双方向の学習指導ができる
 - ・アンケートや課題をオンラインで提示し、授業や評価に活用できる

先進的教育モデルの研究

- 【小・中学校】
- 研究指定校において、スタディ・ログ(学習履歴)を活用した個別最適化の学習指導モデルや遠隔授業モデル等の研究やICTを活用した授業・学習等の在り方について研究
- 協力校における情報活用能力育成のためのカリキュラムマネジメントの推進
- 指導計画や実践事例等の普及啓発
- 【県立学校】
- ICTを効果的に活用した授業改善や評価方法を研究
- 研究指定校において、遠隔・オンライン教育等を活用した新たな教育方法による教科等横断的な学びに関するカリキュラム開発等を研究

プログラミング教育の充実

- 【県立高校】
- 「情報Ⅰ」を履修する全ての県立高校にプログラミングの効果的な実習環境を整備

学校横断型教育プログラムの実施

- 【県立高校】
- 1人1台タブレット型パソコンを活用した県立学校全体の多彩な教育資源の共有による、学校の枠を越えた学習活動の実施

ICT環境の整備

- 県立学校の生徒用1人1台タブレット型パソコンの整備
- 県立学校の教員用タブレット型パソコンの整備
- 県立学校の学習用インターネット環境の整備
- 教員のICT活用をサポートする情報通信技術支援員(ICT支援員)の継続配置(全県立学校)
- 児童生徒の障がいの特性に応じたICT機器(分身ロボット・デジタル教科書等)の配備・維持・更新(県立特別支援学校)

生徒の学習データの蓄積・分析

- 各学校でのデータ分析により生徒自身の学びの振り返りや教員の指導改善に活用できるデジタル採点システムを導入(県立中・高等学校)

福岡県学校教育ICT活用推進方針

事業費：1,156,853千円

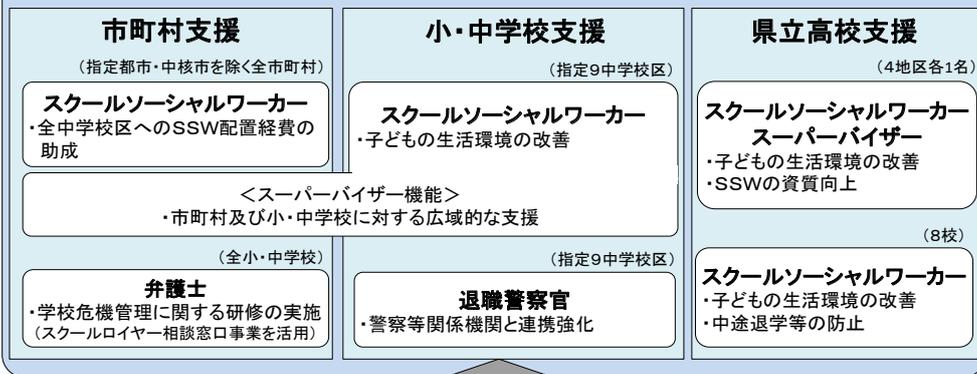
1 4 児童生徒を取り巻く生活環境改善事業

高校教育課・義務教育課・特別支援教育課

学校をプラットフォームとした子どもの貧困対策を展開するため、全中学校区へのスクールソーシャルワーカー（SSW）配置など、専門スタッフの配置拡充により、学校の生徒指導及び教育相談体制を強化し、児童生徒を取り巻く生活環境の改善を図ります。

貧困をはじめとする子どもの生活環境の改善

「チーム学校」による生徒指導及び教育相談体制の強化



専門スタッフの配置・派遣

児童生徒を取り巻く生活環境の悪化、SSW配置等の不均等

- 子どもの貧困、家庭状況を要因とする不登校児童生徒数の増加
- 各地域内の不登校等の学校間格差
- SSW配置状況の市町村間格差、SSWの資質向上等

事業費：91,462千円

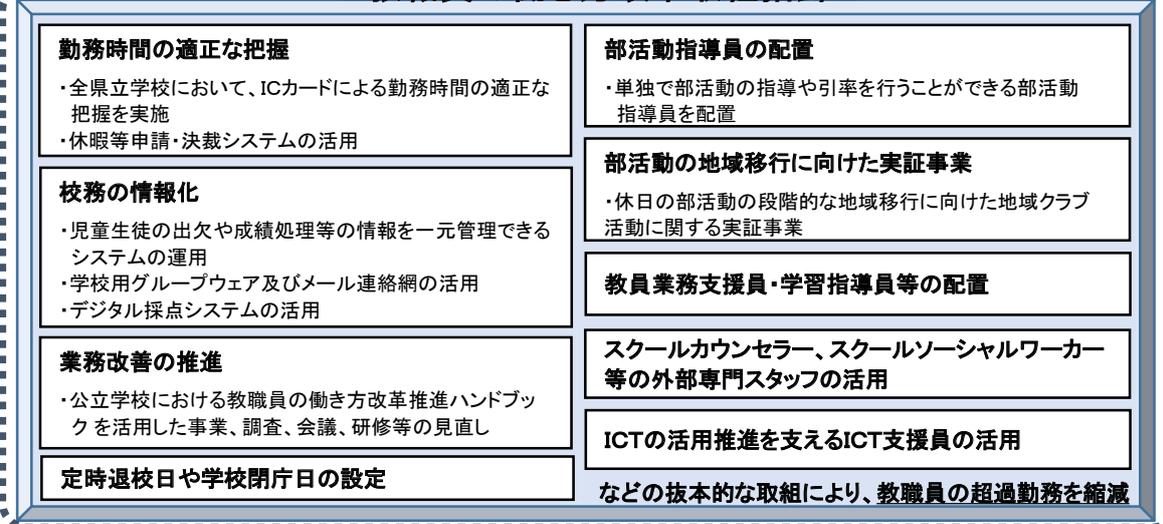
1 5 教職員の働き方改革推進事業（一部新規）

教職員課・義務教育課・体育スポーツ健康課他

教職員の長時間勤務を改善するため、ICカードによる勤務時間の適正な把握など、実効性のある対策を働き方改革の指針に盛り込み、順次実行することで、教職員が子どもと向き合う時間の確保や教育の質の向上を図ります。

教職員が子どもと向き合う時間の確保、教職員の健康の保持増進・ワークライフバランスの実現

教職員の働き方改革取組指針



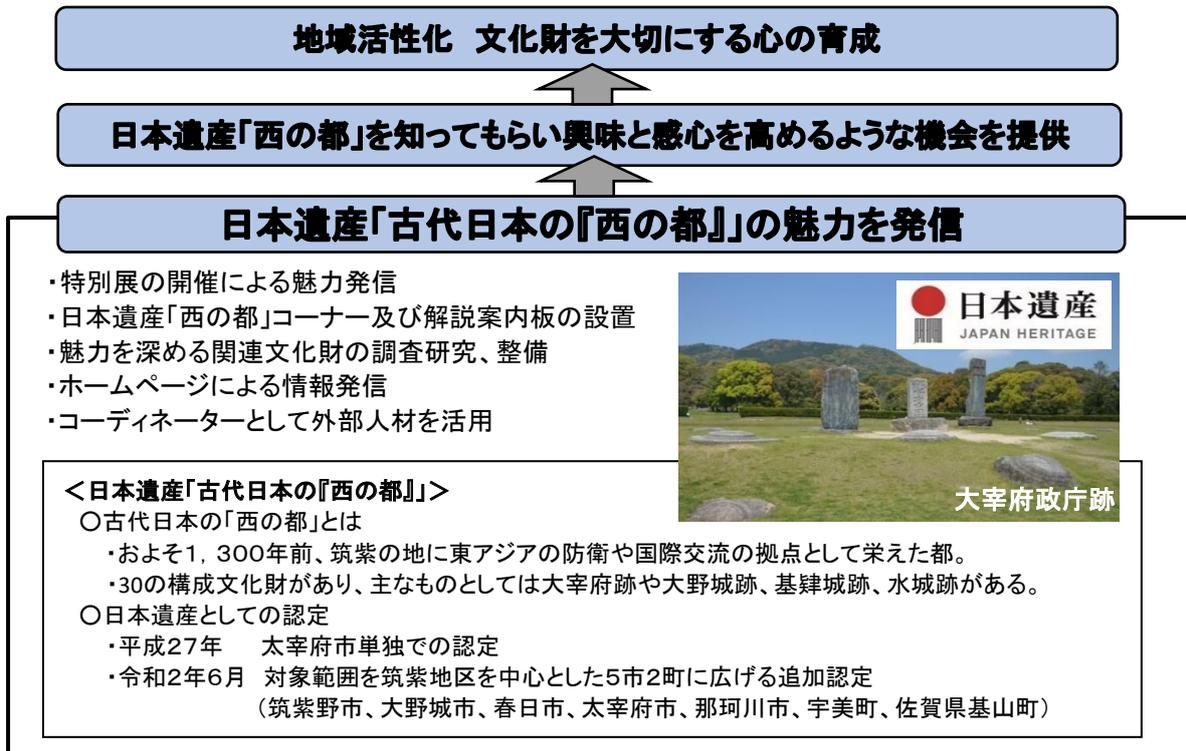
抜本的な取組が必要

教職員の長時間勤務が深刻化

(教職員に求められる教育課題が複雑化・困難化するとともに、保護者・地域活動への対応等、その役割が多様化)

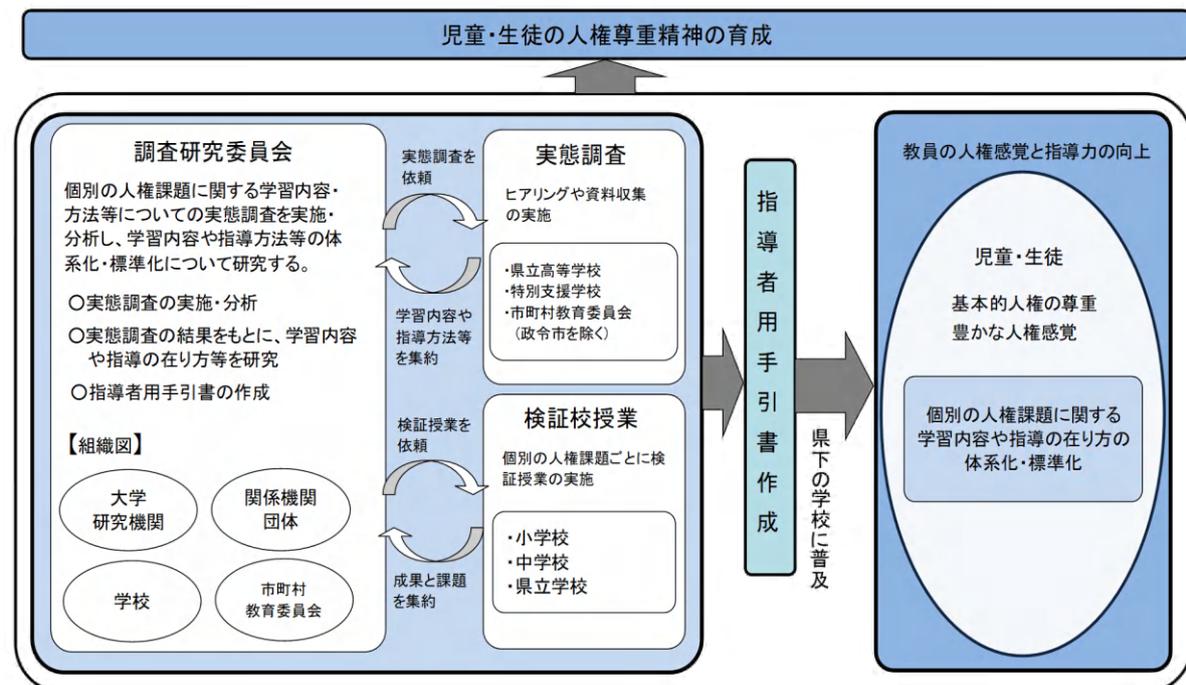
事業費：635,190千円

日本遺産「古代日本の『西の都』」の魅力国内外に発信し、広く知ってもらおうとともに、本県の文化・歴史への興味と関心を高めるような機会を提供します。



事業費：26,120千円

本県の人権・同和教育における個別の人権課題に関する学習内容や指導方法等の体系化・標準化及び教員の指導力の向上を図るため、実態調査や検証授業等を通して指導方法や内容の在り方等について調査・研究し、もって児童・生徒の人権尊重精神の育成を図ります。



事業費：2,879千円